



令和5年10月30日(月)

## 第18回遠野市史編さん委員会を開催しました

第18回遠野市史編さん委員会では、前回に引き続き執筆者の著作権に関する覚書と、『新編遠野市史 資料編 考古/古代・中世』の表紙デザインに関する協議を行いました。

執筆者の著作権に関する覚書については、弁護士などの専門家に内容の確認を依頼し、条文を整理した上で今回再提案したところ、問題なしということで承認されました。

また表紙デザインについては、前回決め手に欠けるとして決定しませんでしたでしたが、今回は新たな候補のうちから事務局側で3案を選び、事前に委員に1～3位までの順位をつけてもらった上で、その結果をもとに協議を行いました。結果、基本となるデザインが無事決定しました。今後は委員の意見をもとに色や文字配置などを調整し、本年中にはデザインが決定する見込みです。どんな表紙になるのか、どうぞお楽しみに。



▲会議の様子



▲表紙デザインについて意見交換中



## 令和5年度遠野市史編さん講座を開催します！

今年度の市史編さん講座は、今年3月に国の史跡に指定されたばかりの鍋倉城をテーマに開催します。

1回目(11/18)は講座「鍋倉城と一国一城令」、2回目(12/2)は鍋倉城の見どころを講師と一緒に歩く「鍋倉城を歩こう！」という、豪華二本立てです。講師は日本城郭史学会盛岡支部長の神山仁さんで、専門的な見地から鍋倉城について知ることができる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

### 講座「鍋倉城と一国一城令」

11月18日(土)  
13時30分～15時  
遠野市立図書館 視聴覚ホール  
定員：30名  
ZOOMでの聴講も可能です

### 見学会「鍋倉城を歩こう！」

12月2日(土) 9時30分～正午  
遠野市立図書館前集合  
定員：20名  
小雨決行、荒天の場合9日に延期します

参加には事前の申込みが必要となります。詳しくは市史編さん室までお問い合わせください。



11/18 Sat. 鍋倉城と一国一城令

鍋倉城を歩こう！

12/2 Sat.

# NABEKURA

令和5年度遠野市史編さん講座 要事前申込 参加無料

講師 神山仁 Kamiyama Hitoshi  
日本城郭史学会盛岡支部長 / 遠野市史編さん調査研究員

11/18 講座「鍋倉城と一国一城令」  
13:30-15:00 遠野市立図書館視聴覚ホール 定員30名

12/2 見学会「鍋倉城を歩こう！」  
鍋倉城の見どころを講師と一緒に歩いて巡ります。  
9:30-12:00 鍋倉城跡(図書館前集合) 定員20名

お申込方法  
お電話で市史編さん室へお申込みください。ただし、定員に達し次第受付を締め切ります。  
11月18日の講座をZOOMで聴講希望の場合は、11月10日までにメールでお申込みください。聴講用URLを前日までに返信します。

ご注意  
見学会に参加を希望される方は、次の点にご留意の上お申し込みください。  
①足元のある山道部を歩きます。  
②小学生以下の児童が参加する場合、保護者の同伴が必要です。  
③歩きやすい靴と服装、防寒具をご用意ください。  
④荒天の場合、9月9日(土)に延期します。  
前日の午前中に天候の調査を依頼し、延期の場合は電話で連絡します。なお、9日も荒天の場合は中止とします。

遠野市 市史編さん室 〒028-0515 岩手県遠野市東部町3番9号(遠野市立図書館・博物館内)  
TEL: 0198-62-2340 FAX: 0198-62-5758 E-mail: bunka@city.tonyi.wate.jp





令和5年10月28日(土) - 29日(日)  
学校跡地の調査を行いました



◀旧琴畑分校の記念碑(土淵町)



▶旧上宮守小学校の創立百周年記念碑(宮守町)

遠野市の市立学校は小学校が11校、中学校が3校ありますが、新設や統合を繰り返して現在に至っています。近現代部会では、統廃合の状況や学校の系譜を調べるため、閉校になった学校跡地の調査を行いました。

記念誌などからリストアップしたところ、明治5年(1872)の学制発布以降、分校や分教場、移転などを含め40ヶ所以上の学校があったことがわかりました。跡地には記念碑や卒業記念のモニュメントなどが残されかつてそこに学校があったことを知ることができます。またコミュニティセンターや集会所になっている場所もあり、現在も地域の人々が集まる場として機能していることが多いことがわかりました。

## 二宮金次郎像

### 資料紹介

二宮金次郎そんとく/たかのり(尊徳、1787-1856)は、小田原藩(現在の神奈川県小田原市かやま栢山)に生まれ、江戸時代末期に飢饉や災害などで困っていた多くの藩や村の復興に尽くした農政家です。若くして父母を失い、苦学しながら洪水で流出した生家の田畑を復興した手腕を評価され、各地の財政再建を担いました。彼が唱えた報徳思想ほうとくしそは全国に広まり、明治期には学校教科書に取り上げられ、昭和期になると薪を背負って歩きながら本を読む少年の姿の銅像が各地の小学校に建立されました。しかし戦争が始まると金属を再利用するために像が供出され、代わりに石や焼き物などの像が建てられたところもあったそうです。戦後は「時代に合わない」といった世論や学校の統廃合、「ながら歩行」が良くないなどの理由で多くは撤去されていきましたが、遠野市内には小学校の敷地内や閉校になった学校



◀松崎小学校跡地の二宮金次郎像



▶鹿込小学校跡地の二宮金次郎像

の跡地など7ヶ所(一部のみ現存も含めれば8ヶ所)に現存し、近年再建されたものもあります。また「鹿込ししごめ小学校跡地のイロハモミジと二宮金次郎像」として遠野遺産第98号に認定され、地域のシンボルとして大切にされている金次郎像もあります。この金次郎像は当初は銅像でしたが戦争のため供出され、現在はコンクリート製となっています。

編集・発行 遠野市民センター市史編さん室

〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号(遠野市立図書館・博物館内)

TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758